R7-R9年度

未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト

前事業（R4-6年度）の成果

○主体的・対話的で深い学びの視点による授業と学習評価の改善に向けた取組の浸透
○各校の教育目標に基づいた各教科の身に付けるべき資質・能力の設定と、PDCAサイクルの確立
○目標と、指導・評価・改善の取組の公開
○ 1人1台端末の活用

前事業（R4-6年度）の課題と、社会からの要請

○変化の激しい社会の中で新たな価値を創造する人材の育成に向け、現状の一斉授業スタイルからの脱却が求められている
○1人1台端末を更に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実が求められている
○課題解決型の探究活動やSTEAM教育等の教科横断的な学びの充実が求められている

多様な他者と協働したり、自ら自己調整したりして学習を進めていく「生徒主体の授業への教育観の転換」を図ることにより、生徒一人ひとりの関心・意欲や特性に基づいた学びを実現する。

『山梨県教育振興基本計画』

３年間の具体的な取組内容

Ⓐ 年度末

◆校内研修の実施
◆不断の授業改善
◆授業改善推進会議での情報共有
◆生徒・保護者、地域社会への取組の情報公開
◆プロジェクト報告書

Ⓟ 年度初め

◆プロジェクト計画書
・スクールポリシーを踏まえた各教科等の目標設定と共有
・生徒主体の授業への転換のための取組テーマ設定と共有
◆授業改善推進会議

Ⓒ 年２回

・授業アンケートの実施と中間評価
→結果の分析と共有
・授業アンケートの実施と年度末評価
→結果の分析と共有

Ⓓ 通　年

◆取組テーマに沿った授業の計画と実施
◆各教科等の目標の実現に向けた授業の計画と実施

各校の取組テーマ例

- 自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
- 目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出
- 主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善
- ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 文理の枠を超えた教科横断的・総合的な探究課題への取組

各校の達成指標例（授業アンケート等に盛り込む）

- 自ら学習課題や学習方法を選択して自主的・自発的に取り組むことができた
- 活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた
- 授業や単元の始まりに目標を確認することができた
- 授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた
- 授業や家庭学習でICT機器を効果的に活用することができた
- 授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる
- 授業の中で各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った
- 他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた
- 学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた